

令和 3 年 4 月 8 日

質 疑 回 答 書 （ 設 計 図 書 ）

南西地区共通事務部経理課

工事名称 京都大学（南部）iPS細胞研究所建具取設工事

標記工事の設計図書について下記のとおり回答いたします。

No.	図面番号	質疑事項	回答
1	3号、4号	詳細図が無いので、取付下地がある状態での見積もりでよろしいでしょうか。	軽鉄間仕切りおよび天井については、既存の軽量鉄骨下地に取り付けとなります。
2	3号、4号	撤去工事や床見切りなどの工事はなく、既設の状態を取り付けるだけの見積もりでよろしいでしょうか。	設計図に記載の通り、撤去工事や床見切りなどはありません。
3	6号	有効Wが確保できない箇所がありますがよろしいでしょうか。PD3W1610→W1575、PD4W1630→W1590、PD5W1630→1590	有効Wは既製パーティションとして技術的に可能な最大値とします。
4		工事車両の退場ゲート通過時は有料ですか。	工事用車両には無料券を発行します。
5		場内に工事用車両の駐車スペースはありますか。ある場合は、何台分確保できますか。	工事期間に渡る工事用地の設定はありませんが、協議により必要最小限の駐車スペースを確保します。
6	現場説明書5(2)	仮設建物は設置できないとありますが、建物内に作業員の休憩スペースは確保できますか。	建物内に休憩スペースは確保できません。
7	現場説明書5(3)	工事用電力・用水は、建物内の既設コンセント等の使用が可能ですか。	工事用電力・用水の引き込みは想定していませんが、少量であれば建物内の設備を使用可能です。
8		建物内のトイレは使用可能ですか。	建物内のトイレは使用可能です。
9		材料の搬出入時、どのエレベータが使用可能ですか。又、階段は使用不可ですか。	本館はE V 2と階段室2、第3研究棟は設計図に記載のE Vと階段室が使用可能です。
10	特1号 特記事項 章1 各章共通事項	作業が制限される場合があるとありますが、どの程度の制限ですか。（工区分け及び工期をずらしての作業となる場合がありますか。ある場合、どの程度ですか。）	通路確保のため、本館、第3研究棟とも同一フロアでPDの同時施工およびACDの同時施工はできません。また、ビス止め等の騒音作業については、不定期のイベントにより施工の1週間程度前に日程調整いただく場合があります。

No.	図面番号	質疑事項	回答
11	3号～5号	本工事は、現況未設置場所への新設と考えたらよいですか。	ご理解の通りです。
12	3号～5号	現況の仕上等が不明です。 既設の床仕上、壁仕上、軽間部分の仕様（PB二重貼等）、天井下地及び仕上についてご教授願います。	床：ビニル床シート 壁（軽鉄間仕切り部分） ：強化石膏ボード15+15、E P 天井：軽鉄下地 PD2 ロックール化粧吸音板(普通)12 その他 不燃積層石膏ボード9.5
13	6号	既設三方枠の材種は何ですか。	鋼製1.6mmです。
14		サッシの取付方法の指示はありますか。	メーカー標準仕様となります。 ・コンクリート面：カールプラグ止め ・ボード面：軽鉄下地にビス止め
15		取付用下地及び下地補強の際、壁及び天井の撤去、復旧が生じると思われますが、その範囲は必要最小限（施工者判断）とすれば良いですか。	現状での取り付けが可能であることをメーカーには確認済みですが、新たに下地や下地補強を設ける場合は事前に協議を行うこととします。
16	6号	自動ドアには電源スイッチは必要ですか。必要な場合、位置はサッシ枠横（枠から100～200程度横）の壁面で良いですか。	メンテナンス用に電源スイッチは必要ですが、管理用の壁面スイッチは不要です。
17	現場説明書	工事の条件として、騒音・粉じんを伴いますが、土日祝日作業等の制約はありますかでしょうか。	特に大きな騒音作業となるコンクリート面の削孔とカールプラグの取設は土日祝日作業としてください。
18	特記仕様書	工事に際して、仮設間仕切り等は必要でしょうか。	仮設間仕切りは必要ありませんが、粉塵対策の養生は必要です。
19	6枚の内3号～5号	新設建具と既設天井面の取合いに関して天井の補修は発生しますでしょうか。また、発生する場合の天井の仕様・範囲をお教えてください。	設計上、天井の補修は想定していません。
20	6枚の内3号～5号	上記に関して、新たに点検口等の設置は必要でしょうか。	新たに点検口等の設置は必要ありません。